



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月14日

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
 コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 巢山 貴裕

TEL 03-6758-0455

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	3,097	5.7	245		315		350	
30年3月期第3四半期	2,929	0.3	245	104.2	233	117.5	699	

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 351百万円 (%) 30年3月期第3四半期 684百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
31年3月期第3四半期	150.56	
30年3月期第3四半期	319.51	

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
31年3月期第3四半期	4,926	764	15.5	284.33
30年3月期	2,650	615	23.2	281.22

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 764百万円 30年3月期 615百万円

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにとり、業績予想の開示を控えさせていただきます。なお、今後業績予想が可能になりました段階で改めて公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	2,737,720 株	30年3月期	2,237,720 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	48,753 株	30年3月期	48,733 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	2,325,341 株	30年3月期3Q	2,189,063 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府の各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動などの懸念に加え、相次いでいる自然災害の経済に与える影響により、先行きはやや不透明な状態にあります。

このような事業環境のもと当社グループは、インターネット関連事業・通信事業・健康医療介護情報サービス事業・調剤薬局及びその周辺事業を中心に、システム開発・保守・運用等のソリューションサービスを提供しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績としましては、売上高が3,097百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。損益面におきましては、販売費及び一般管理費が主に調剤薬局その周辺事業において、M&A関連費用等が増加した結果、営業損失245百万円(前年同四半期は営業利益245百万円)、経常損失315百万円(前年同四半期は経常利益233百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失350百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益699百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発、データセンターの運用・保守及び不動産仲介業者向けASPサービスの提供等を行い、売上高は788百万円(前年同四半期比23.7%減)となりました。

[通信事業]

MVNO(※1)、FVNO(※2)を中心とした情報通信サービス全般とISP(※3)の企画、開発、運営を行い、売上高は1,756百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。

[健康医療介護情報サービス事業]

病院・薬局向けの薬歴管理・服薬指導業務支援システムの開発・販売・保守、医療情報管理ソフトウェアの販売・保守等を行い、売上高は82百万円(前年同四半期比55.1%減)となりました。

[調剤薬局及びその周辺事業]

調剤薬局の運営を行い、売上高は493百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間の末日現在においてグループにおける薬局総数は13店舗となりました。今後もM&Aを積極的に活用し、当該事業を拡大して参ります。

[その他]

WEBサイトの企画・運営及び管理等を行い、売上高は1百万円(前年同四半期比51.9%減)となりました。

(※1) Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

(※2) Fixed Virtual Network Operatorの略。自社で固定回線のネットワークを持たず、他の事業者から借りてあるいは再販を受けて固定通信サービスを提供する事業者。

(※3) Internet Services Providerの略。公衆通信回線などを經由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業者。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ2,276百万円増加し、4,926百万円となりました。これはのれんの増加824百万円、受取手形及び売掛金の増加240百万円等によるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ2,127百万円増加し、4,162百万円となりました。これは長期借入金の増加1,206百万円、短期借入金の増加91百万円等によるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は764百万円となり、前連結会計年度末と比較して148百万円の増加となりました。これは第三者割当増資により資本金及び資本剰余金が増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は15.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにとり、業績予想の開示を控えさせていただいております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,974,152	2,911,752
受取手形及び売掛金	450,412	691,258
商品及び製品	11,994	125,614
仕掛品	15,814	15,519
その他	20,796	54,687
貸倒引当金	△3,902	△4,769
流動資産合計	2,469,268	3,794,063
固定資産		
有形固定資産	13,409	75,488
無形固定資産		
のれん	111,672	936,068
その他	8,850	7,141
無形固定資産合計	120,523	943,209
投資その他の資産		
投資有価証券	—	171
敷金及び保証金	32,364	50,111
その他	71,502	118,677
貸倒引当金	△56,854	△54,870
投資その他の資産合計	47,013	114,090
固定資産合計	180,946	1,132,789
資産合計	2,650,214	4,926,852
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	450,941	806,970
短期借入金	570,000	661,800
1年内返済予定の長期借入金	84,007	379,652
未払金	76,256	121,595
未払法人税等	89,357	—
預り金	468,379	354,814
その他	106,618	175,669
流動負債合計	1,845,562	2,500,502
固定負債		
長期借入金	172,315	1,378,746
退職給付に係る負債	—	152
その他	16,748	282,902
固定負債合計	189,063	1,661,801
負債合計	2,034,625	4,162,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,358,000
資本剰余金	402,887	652,887
利益剰余金	△1,827,919	△2,178,010
自己株式	△61,934	△61,957
株主資本合計	621,033	770,919
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,444	△6,370
その他の包括利益累計額合計	△5,444	△6,370
純資産合計	615,589	764,548
負債純資産合計	2,650,214	4,926,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	2,929,705	3,097,449
売上原価	2,073,647	2,215,979
売上総利益	856,058	881,470
販売費及び一般管理費	610,669	1,127,326
営業利益又は営業損失(△)	245,388	△245,855
営業外収益		
受取利息	310	488
為替差益	—	1,003
貸倒引当金戻入額	2,789	2,205
その他	698	1,264
営業外収益合計	3,799	4,961
営業外費用		
支払利息	15,486	17,424
借入手数料	—	48,609
その他	78	8,264
営業外費用合計	15,565	74,298
経常利益又は経常損失(△)	233,621	△315,192
特別利益		
投資有価証券売却益	2,512	—
関係会社株式売却益	—	876
関係会社株式交換益	570,764	—
保険解約返戻金	—	5,749
特別利益合計	573,277	6,625
特別損失		
固定資産除却損	61	—
減損損失	5,574	3,691
資産除去債務計上損	—	1,144
特別損失合計	5,635	4,835
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	801,263	△313,401
法人税、住民税及び事業税	105,481	36,936
法人税等調整額	△3,635	△246
法人税等合計	101,845	36,690
四半期純利益又は四半期純損失(△)	699,418	△350,091
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	699,418	△350,091

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	699,418	△350,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,569	—
為替換算調整勘定	△25	△925
その他の包括利益合計	△14,594	△925
四半期包括利益	684,823	△351,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	684,823	△351,017
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年10月18日付で、株式会社E-BONDホールディングスから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が250,000千円、資本準備金が250,000千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,358,000千円、資本剰余金が652,887千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	インター ネット関連 事業	通信事業	健康医療 介護情報 サービス 事業	遺伝子情報 サービス 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	993,745	1,724,829	181,255	28,419	2,928,251	1,454	2,929,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,109	1,760	3,054	497	45,421	1,030	46,452
計	1,033,855	1,726,590	184,309	28,917	2,973,672	2,484	2,976,157
セグメント利益 又は損失(△)	148,371	252,012	△15,984	△29,794	354,605	△5,408	349,197

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ECサイト関連事業及び海外事業を含んでおります。

2. 「遺伝子情報サービス事業」については、平成29年10月1日付で株式交換を行ったため、本事業の主体であった株式会社ジーンクエストを、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「遺伝子情報サービス事業」におけるセグメント資産が、189,154千円減少しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	354,605
「その他」の区分の利益	△5,408
セグメント間取引消去	408
全社損益(注)	△104,217
四半期連結損益計算書の営業利益	245,388

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「ECサイト関連事業」及び「海外事業」について、量的な重要性が低下したため「その他」として記載する方法に変更しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	インター ネット関連 事業	通信事業	健康医療 介護情報 サービス 事業	調剤薬局 及びその 周辺事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	766,457	1,754,971	82,438	493,409	3,097,276	172	3,097,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,470	1,983	292	—	24,746	1,020	25,767
計	788,927	1,756,954	82,731	493,409	3,122,022	1,193	3,123,216
セグメント利益 又は損失(△)	25,234	224,006	△22,938	△282,991	△56,689	△785	△57,475

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ECサイト関連事業及び海外事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△56,689
「その他」の区分の利益	△785
セグメント間取引消去	125
全社損益(注)	△188,505
四半期連結損益計算書の営業損失	△245,855

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ(当社及び連結子会社)は、平成30年4月1日付にて調剤薬局及びその周辺事業を推進する会社を設置すると共に、健康医療介護情報サービス事業の機能集約をはかり、資源を効率的に活用可能な体制整備のため、グループ内組織再編を実施いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間から、「調剤薬局及びその周辺事業」を報告セグメントとして新たに追加しております。

「遺伝子情報サービス事業」については、本事業の主体であった株式会社ジーンクエストを平成29年10月1日付で株式交換を行い連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分から削除しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤薬局及びその周辺事業」セグメントにおいて、のれんのコ額に重要な変動が生じております。

第1四半期連結会計期間において、有限会社ビーライクの連結子会社化、ルナ調剤株式会社での有限会社テイエヌ商会からの事業譲受、第2四半期連結会計期間において、有限会社コアラの連結子会社化、ルナ調剤株式会社での有限会社メディカルボックス及び有限会社ケアンドワイからの事業譲受、また当第3四半期連結会計期間において、有限会社ユウアイファーマシーの連結子会社化により、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては825,498千円であります。

「インターネット関連事業」セグメントにおいて、のれんのコ額に重要な変動が生じております。

当第3四半期連結会計期間において、株式会社サイバービジョンホスティングでの株式会社アールエムエスからの事業譲受により、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては35,185千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。